

また、暑い8月やってきました。今年は平和の大切さを子どもたちと話してみませんか。

いのちをたいせつに 平和アニメ3本 一挙上映!



入場無料

親と子で 映画を観よう!!

セミが鳴いています。

暑い夏。汗が流れてきます。

1945年8月15日、日本は敗戦を迎えました。あの日も、今日のように暑い日だったそうです。

平和の中で育った私たちは、

平穏な日々のありがたさを感じることはありません。人と争い、人同士が殺し合うこと。それが「戦争」。

9・11テロ、パレスチナ紛争、イラク戦争・・・

多くの人たちが、今も世界各地で命を落としています。毎日の生活の中で、

戦争について考えることなんてないからこそ、

敗戦日の前に、一緒に映画を見て考えてみませんか。



夏服の少女たち 30分

—ヒロシマ昭和20年8月6日

1945年8月6日、学徒動員で建物の取り壊し作業中に被爆した旧広島県立第一高等女学校の一年生220人。全員がなくなり、彼女たちの着ていた自ら作った夏服はボロボロになって家族の元に戻ってきた。生徒の一人森脇瑤子さんの日記をもとに、少女たちの入学から8月6日までのつかの間の青春と戻ってきた夏服を、形見として守り続ける親の悲しみを描く。

100ばんめのサル 20分

地球には生き物をすべてを一瞬に焼き尽くすほどの核爆弾があります。それをなくして、戦争や核の恐怖のない平和な暮らしが出来ないのでしょうか。この物語はサルがイモを洗うことを覚えるという「100番目のサル」が教えてくれることは?

済えさらぬ傷あと

火の海大阪 20分

戦争体験者の声と実話をもとに戦争の恐ろしさを描く話題作!

1945年(昭和20年)大阪に住んでいた多くの人々が無差別の空襲によって、尊い命を失いました。二度と戦争を繰り返さないよう、平和の尊さを訴える。



主催: 生駒フォーラム
・平和アニメ上映部
後援: 日教組 生駒市公立学校教職員組合

8月13日(日) とき: 1時30分 ところ: 生駒セイセイビル

(奈良県「障害者」運動ネットワークとは、障害をもつ人も地域で生きることを目指して活動している県内6施設、作業所、2自立生活センターで構成している団体です)

Tel 七一一七〇〇
参加費: 200円(資料代)
主催: 奈良県「障害者」運動ネットワーク
連絡先: 高柳 忠夫
(奈良県議会議員)

四月から障害者自立支援法が一部施行されました。各事業所からの請求書を見て、あらためてサービス利用を考えている障害者のみなさんの顔が想像できます。居宅サービスがこの十月に新体系に移行します。「利用者の一割負担、日帰りショートステイやデイサービスが廃止されても代わりがない、移動支援が市町村の事業に移るけれど継続・維持するの」というさまざまな不安。十月の新体系移行まで時間が迫る中、どのような問題があり、どんな対処が考えられるのか、また出来るのかを利用者・支援者と市町村の担当者の方とともに考えたいと思います。地域で自立支援に関わっている方、ぜひご参加下さい。



No. 84
発行責任者
山本 保
事務局 東新町2-10
市民オフィス内
TEL. 71-7700
FAX. 71-7800
http://www.1.kcn.ne.jp/forum/
E-mail: forum@kcn.ne.jp

市民ネットワークをめざそう!
情報公開・政治倫理の確立で、市民参加の開かれた市政をめざそう
環境・教育・福祉・学研バイオ研究
に関してのご意見をお寄せ下さい

募集 市民運動 会員募集中
NPO法人「あぐり」
市民運動の運営支援や農業技術の習得、振興、農業体験など、「あぐり」の活動に参加したく会員を募っています。多くの皆さんをお待ちしています。
申込み ●NPO法人「あぐり」●
電話 75-0084

サービス利用者と
市町村担当者の
合同学習会
やっぱり
あかんで!
「自立支援法」

いこま保育園の増員計画が中止に!

★予算成立後、二日で中止に

今年度予算で保育所の待機児童対策として二億八〇〇万円が計上されました。具体的には「いこま保育園増設事業補助」として予算化され九〇名の増員計画がすすめられていました。しかし、この計画は予算成立の二日後、五月三十一日に中止が決定されました。

大規模化による保育の質の低下を懸念する保護者の反対があったことが主な理由です。

★生駒市は二〇〇九年度までに二七〇名増員を計画

いま、市内の保育所定員数は公立私立あわせ九ヶ所一一五〇名ですが、今年七月末の待機児童数は五四名となっています。市内の待機児童数は年々増加しています。

二〇〇五年の七月に策定された「生駒市次世代育成支援行動計画」では二〇〇九年度の目標数値として保育所を二ヶ所増設するとともに、定員を二七〇名増員し一四二〇名とすることになっています。

市は、二七〇名増員の根拠として出産数・保育所入所率の推移や人口推計から割り出したとしています。

★中地区では一五〇名規模の保育所を計画

今回の計画はもとも、市内

の中地区で二〇〇五年度末の待機児童が五六人に達し、二〇〇七年度にはこれまでの経過から八〇名程度とすることが予想されること、遊戯室を保育室として転用することで七〇名程度の保育を確保していることから、新たに一五〇名規模の保育所が必要だとすすめられてきました。

しかしこの規模に適する用地が見つからず、市はいこま保育園に協力を要請し、協議の結果九〇名規模の増設計画となったのです。

★大規模化に反対の声

ところが三月に示された当初予算案でこの計画が明らかになくなった時点で保護者の一部から施設の大規模化の中止を求める要望が出されました。その後、市、事業者、保護者で協議を重ねられ、さらに保護者のアンケート回答のうち反対が多数を占めたということから結果的に市は計画の中止を決定しました。すでに内示されていた国庫補助金についても返上することが決められています。

★法務局跡地で保育所新設へ

市はあらためて法務局跡地で保育所新設を進めるとともに北地区にも新たな建設を計画していますが、いずれも今年度は調査にとどまる可能性が高く、具

体化は来年度以降となりそうです。この結果、現在の待機児童の対策は大幅に遅れざるをえない状況です。

★予算審議に関わる情報は事前に明らかにすべき

ところで、このような計画変更は議会には計画が中止された後、六月議会の会期中に初めて非公開の全員協議会で市長から報告されました。すでに五月臨時議会でも予算審議が行われていたときには関係者の協議が行われ、計画実施が難しい状況になりつつあったにもかかわらず、議会には報告されませんでした。これでは五月臨時議会での予算審議は何だったのでしょうか。全員協議会の場で市長が陳謝するという場面もありましたが、市としても今後、議会審議にあたってはこのような情報を速やかに開示しううえで臨むべきです。

生駒市議会議員 おざさ浩樹

待機児童数等の推移

| 年度 | 02年度 | 03年度 | 04年度 | 05年度 | 06年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 児童数(人) | 6,497 | 6,482 | 6,460 | 6,351 | 6,358 |
| 保育所入所数 | 1,107 | 1,145 | 1,175 | 1,215 | 1,209 |
| 入所割合(%) | 17.0 | 17.7 | 18.2 | 19.1 | 19.0 |
| 待機児童数(人) | 11 | 10 | 15 | 33 | 45 |
| 出生数(人) | 996 | 985 | 937 | 931 | - |

それぞれ4月1日現在

どうなる!? 生駒の地域医療

生駒総合病院の後継病院を旧病院跡地に建設するため、市は所有者の奈良県国保連合会と交渉をすすめています。すでにお伝えしたとおり市の予算で三億円の用地買収費用が計上されています。さて八月二日に行われた国保連合会の理事会では他の市町村長の中からこの用地売買に異論が出たようですが、「跡地の再開が後継病院建設の前提」ならば、交渉成立が不可欠です。

また、市は後継病院を担う医療機関として過去に国保連合会が病院の移譲先として打診をした五つの医療機関のうち、聖隷

NHKスペシャルで「急増「働く貧困層」と題し、「ワーキングプア」の問題が取り上げられていました。

格差社会と呼ばれる状況は、政治問題として国会でも取り上げられています。番組によると「ワーキングプア」は全国平均で全労働者の十分の一(四〇〇万世帯)、都市部では四分の一にもなるそうですが、どの行政機関も正確な実数は把握していないということです。

この状況は地域社会の有り様も大きく変えていきます。生駒市でも生活保護受給世帯は年々

救急出場件数・搬送人員の推移

| 年 | 救急出場件数 | 搬送人員数 |
|-------|--------|--------|
| 2001年 | 2,914件 | 2,842人 |
| 2002年 | 3,069件 | 3,009人 |
| 2003年 | 3,290件 | 3,186人 |
| 2004年 | 3,547件 | 3,421人 |
| 2005年 | 3,707件 | 3,579人 |

それぞれ1年間の件数

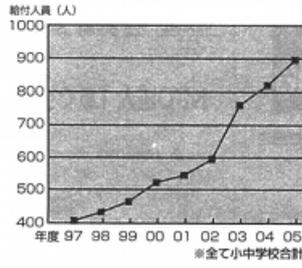
しかし高齢化が進んでいることもあり、救急で運ばれる人の数は年々増えてきています。また生駒市を含む北和地域の小児二次(入院を必要とする重症患者)救急の輪番体制の中に市内の病院はありません。こうしたことから一日も早い後継病院の診療開始が必要です。生駒フォーラム編集部

増加し、一九九七年度と昨年度を比較すると二・五倍以上になっています。

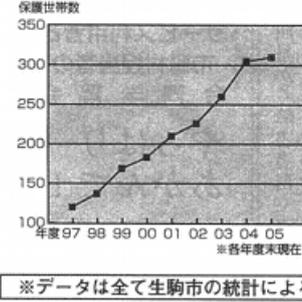
格差社会の問題は、それが次の世代にまで引き継がれるということ。子どもたちが生まれた環境により進学や就職の「機会」まで奪われてしまうことがあってはならないと思います。生駒市の就学援助費の給付を受ける人数

生駒市議会議員 福中 まみ

生駒市の就学援助費給付人員数の推移



生駒市の生活保護世帯数の推移



※データは全て生駒市の統計による